

## 安達太良山山行報告

【山行日】2017年 2月 22(土) 曇り時々晴れ

【集 合】 栃本市運動公園P AM 6:00

【費 用】 マイカー1台 : 3,700円

【メンバー】 CL:鈴木、石川、伊藤、岩淵、香川、津佐

【コースタイム】栃本市運動公園 P6:00＝安達太良高原スキー場 P8:00/8:30～勢至平 9:55/10:05～峰の辻 11:00/11:10～くろがね小屋 11:30/11:55～勢至平 12:25～安達太良高原スキー場 13:10/13:20＝那須高原 SA14:15/14:30＝栃本市運動公園 P15:30



厳冬期の雪山を歩くトレーニングとして、安達太良山山行を計画した。2日前の天気予報では、冬型の気圧配置で風が強く中止かなと思ったが、前日の予報は好転したので決行した。



栃木 IC では晴れていたが、東北道を北上し那須 IC あたりから雪雲が掛かり日差しは途絶え曇り空になった。

岳温泉を過ぎると道路はアイスバーンになり、風に乗って小雪がちらついていた。安達太良高原スキー場に着き、トイレを済ませ支度を整えて出発する。スキー場の脇を通り、道標に従ってくろがね小屋方面へ進む。

烏川を渡った先でアイゼンを付けるが、スノーシューが良い人はスノーシューを付ける。この先から旧道に入り、急傾斜の山道にな

るがトレースがしっかり付いていて歩き易い。

小雪が舞っているが、風はそれほど強くなくおしゃべりしながら快調に高度を上げて行く。途中で I 川さんが、スノーシューは歩きにくいと言いアイゼンに付け替える。勢至平まで登ると、時折薄日が差すが曇り空で、安達太良山や鉄山は雪雲で見えなかった。傾斜が緩くなるとスノーシューの人は元気になり、トレースから外れて自由に歩き回る。峰の辻への分岐で休憩し、鳥取土産のまんじゅうをいただく。分岐から左に進み、峰の辻へ直接向かうが、トレースが薄くアイゼン組は落とし穴に何回もはまる。

時折強風にあおられ、耐風姿勢で風をやり過ごす。昼くらいには天気が良くなる予報であったが、視界が悪く風も登るにつれ強くなってきた。峰の辻に着き休憩して行動食を食べるが、



風が強いのでミッドウエアを着こむ。視界が無く山頂はさらに強風が吹き、薬師岳への登山道も



強風にさらされるので登頂を断念し、くろがね小屋へ向かうことにする。山頂と反対の右側に下り、竹竿の案内に従い下るとくろがね小屋に着く。アイゼンとスノーシューを外し、小屋の中で昼食をいただくことにする。休憩代一人210円を払うが、今日のような荒天時はとてもありがたい。昼食は販売してないので、各自持参した昼食をいただくが、温かい部屋のテーブルで食べられ至福のひとつ時を過ごせた。

昼食が済んだら外に出て、アイゼンを付け下

山する。ここから勢至平までの道は、狭いトラバースの道でスノーシューでは危険なのでアイゼンを付ける。登って来る登山者が多く、狭いトラバース道でのすれ違いで何回も待たされる。勢至平分岐まで来ると、風はやや収まったが山頂は一度も見ることが出来なかった。勢至平の端から急な下りとなり、グングン高度を下げて行くが相変わらず小屋に向かう登山者は多い。朝アイゼンを付けた場所でアイゼンを外し、スキー場への下りでI 渚さんとI 川さんは尻スキーで下る。

うまく滑れず、逆さにひっくり返ったり脇の笹藪に突っ込んだりで大笑い。しばし童心に帰り、山頂を踏めなかったうっぷんを晴らした。スキー場は中学生のスキー教室で賑わっており、駐車場もほぼ満車状態になっていた。

トイレを済ませ、靴を履きかえ帰路につく。帰りの高速道から安達太良山が見え、ようやく山頂の雲がとれ山頂を拝むことが出来た。

山頂は踏めなくて残念だったが、アイゼンとスノーシュー歩行の良いトレーニング山行となった。

